

職員室から・・・

2008, 10, 14

新潟青陵幼稚園 加藤由美子

○新潟小学校の5年生のみなさんが青ばらさんと遊んでくれた日のことは、前にお便りに書きましたが、その後 あの日来てくれた、小学生のお母さん（弟さんが在園）から伺ったところによりますと、「フルーツバスケットと色鬼を選んだのは、僕たちが幼稚園のころにやって楽しかったからなんだよ」といっていたそうなのです。そして、フルーツバスケットの特別ルールインタビューに答えるところでは、言えない子がいたら、カレーは好きですか？と聞いてあげることも、計画段階で話し合っておいたことだったとのこと、そして、時間をかけて考えたために、自分たちのグループの計画の完成が一番遅くなったということなどを聞いて、いろんな場面を想定して対応策も考え、入念に練り上げられた内容であったことを知って感慨もひとしおとなりました。

「僕たちのグループが一番成功したとおもうよ」と言っていたそうですが、入念な準備をしたからこそ、そして、子どもたちの様子から確かな手ごたえを感じたからなのでしょうね。青ばらの子どもたちは本当に楽しませていただいたのです。大成功でしたね！小学生の皆さん！素晴らしいですね。

○「えんちょうせんせい～、どんぐりひろったよ～」と赤ばらのK君が職員室にきてくれました。「あら、どんぐりよかったわね～」といいながらも「ん？・・・どこで？」と聞くと「幼稚園のお庭だよ」と教えてくれました。そうそう幼稚園のどんぐりの木、なかなか成長できないらしく、木も弱り加減で、ここ数年実をつけてないのです。ですから嬉しくて「どこで拾ったのかおしえて！」とK君の後についていきました。

園庭の真ん中ほどにあるどんぐりの木を指差したK君、その木を見上げてみると、上のほうにまだ青いどんぐりが数個ついていました。思わず、まてばしいの木をなでて“がんばれ～” この後、数日たったころ、白ばらのMちゃんとSちゃんが「どんぐり拾ったよ、袋ちょうだい」と言ってきました。幼稚園でたくさんどんぐり拾いができるようになりますように・・・

10日やきいもを食べました。

秋の空の下、亀の池周辺の縁石に、ずらっときいろい焼きいもを持った子どもたちが並んで食べていました。その姿のかわいいこと、美味しいものを食べているときは、みんな柔らかな表情！「おいしい？」「うん！・・・熱い！」焼きたての熱さに、焼きいもを持つ手を右に左に変えながら、ふうふうはあはあ食べていました。

外で食べるのってまた違った美味しさがありますね。それにお友だちと一緒にだし・・・さて、焼きいもを、いつもお世話になっている大学の事務局の方々にも召し上がっていただくために、青ばらさんに焼きいも運びを手伝ってもらうことにしました。ちょうど食べ終わろうとしていた青ばら一組さんをお願いしてみると、担任が「大学においも持って行きたい人～」と聞いてくれました。大勢の子どもたちが手を上げたので、担任は「♪だれにしようかな～神様のいうとおり～♪」とやって8人が決まったのですが……「あ～あ、行きたかったな～」という声が多く聞こえて・・・担任と二人、そうだよ、みんな行きたいよね・・・迷惑覚悟で、みんなで行こうか！・・・「青ばらさん、お芋一本ずつ持ってね、熱いけどがまんしてもてる？」「うん！もてる！」とみんな張り切って「あち・・・」と言いながら大学へ入りました。

「お姉さんたち、お勉強してるからね」と一言いうと、青ばらさんたちは、自分で人差し指を口にあてて「し～～」とやりながら足音も立てないようにして静々と歩いていました。状況を説明しただけで自分たちの取るべき行動がわかる青ばらさん、素敵！

さて、事務局に到着すると “静寂” そのものの雰囲気を感じて、子どもたちもしずしずと入って行って、一人ひとりにどうぞとお芋を手渡していました。場の空気を感じることができてここでもまた嬉しい思いでした。最後に「食べてください！」とY君たちが大きな声でいって、お芋プレゼントを終えました。誰かにプレゼントをするって嬉しいものですね。そして、大学職員の皆さんに温かく受け取っていただいて、子どもたちは心温まる体験をしたことでしょう。

嬉しいですよ、人の温かさ、人の好意に触れることって……。

通勤のバスの中で

朝の通勤バスは、小学生がたくさん乗っています。にぎやか にぎやか！！（マナーの悪さにはちょっと・・・のこともありますが・・・）

ある朝のこと、大学生くらいのお兄さんが、バスの中でゲーム機をもって一生懸命にやっていた。通路に立っていた黄色い帽子の男の子が、お兄さんのゲーム機に興味津々……お兄さんにぐっと近づいてゲーム機をのぞきこんでいました。その姿にお兄さんの後ろに座っていた黄色い帽子の女の子が二人、立ち上がって、前の座席のお兄さんのゲーム機をのぞきこみました。男の子と女の子たちは、顔を見合わせながら見えています。するとそれに気づいて、お兄さんの前の座席に座っていたやはり黄色い帽子をかぶった女の子がお兄さんのゲーム機に気づいて、後ろ向きに座りなおして、お兄さんのゲーム機をのぞきこみました。その光景に周りの大人たちは、ふふふふ・・・ 子どもたちに三方から深くのぞきこまれたお兄さん、どうしていいか分からなかったのでしょうか、一心不乱の様子で、ゲームを続けていました。子どもたちにちょっと言葉をかけて触れ合ってくれたらいいのになあ～と思いつつ見えていました。子どもたちの遠慮のない無邪気な姿に和まされた朝でした。